



2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年2月1日

上場会社名 株式会社篠崎屋
コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiya.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	864	20.6	6	75.7	7	73.3	2	86.7
2018年9月期第1四半期	1,088	3.2	26	35.2	26	35.1	20	36.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	0.19	
2018年9月期第1四半期	1.42	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	1,493	1,095	73.3	77.35
2018年9月期	1,542	1,092	70.8	77.16

(参考)自己資本 2019年9月期第1四半期 1,095百万円 2018年9月期 1,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		0.00	0.00
2019年9月期					

2019年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	14,436,600 株	2018年9月期	14,436,600 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	278,800 株	2018年9月期	278,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	14,157,800 株	2018年9月期1Q	14,157,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第1四半期累計期間において、商品につきましては、①豆腐、豆乳、おから等を使用した「茂蔵オリジナル商品」、②それ以外の厳選された「定番商品」、③協力工場等からの「本日のお買い得品」の3つに分類し、特に「三代目茂蔵」でしか購入することのできない「茂蔵オリジナル商品」について、新商品開発及び既存商品の見直しに注力しております。具体的には、動物性たんぱく質を植物性たんぱく質へと置き換えた商品や、通常の豆乳を「超濃厚」と「低脂肪」に分け、それぞれの特徴を生かした商品を積極的に開発し、特にデザートなどの高付加価値商品の開発に注力し、買上単価の上昇に努めました。

当第1四半期累計期間の売上高は864,394千円(前年同四半期比20.6%減)、営業利益は6,490千円(前年同四半期比75.7%減)、経常利益は7,157千円(前年同四半期比73.3%減)、四半期純利益は2,682千円(前年同四半期比86.7%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおきましては、「三代目茂蔵」ブランドの認知度向上を推し進めるため、新規顧客の獲得と既存顧客のリピート率向上を目的とし、豆腐専門店としての認知度をより高めるため、3店舗の既存店舗においてリニューアル改装を行い、顧客数の増加に努めましたが、「茂蔵オリジナル商品」を中心とした商品の品質等の見直しによる改廃により一時的にアイテム数が減少したこと等の要因から想定以上の顧客数の減少となり、1店舗平均の顧客数は前年同四半期比97.0%となりました。1店舗平均の顧客単価につきましては、上記に記載した高付加価値商品の販売が貢献し、前年同四半期比102.7%となりました。また、出店エリアの見直し等によるスクラップアンドビルドに取り組んでおり、店舗数が前年同四半期と比較して10店舗減少しております。出店につきましては条件や店舗形態等の見直しを行い、出店準備を継続して進めております。

以上の結果、小売事業の売上高は773,255千円(前年同四半期比16.6%減)となりました。また、パート従業員の時給上昇などによる人件費の増加等も影響し、セグメント利益(営業利益)は35,441千円(前年同四半期比27.6%減)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は91,138千円(前年同四半期比43.7%減)、セグメント利益(営業利益)は7,715千円(前年同四半期比37.6%減)となりました。

なお、当第1四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第1四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	50	—	5	45
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	77	1	1	77
合計		127	1	6	122

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して49,522千円減少し1,493,022千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少19,496千円及び敷金及び保証金の減少29,116千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して52,204千円減少し397,982千円となりました。主な要因は、買掛金の減少40,964千円及び未払法人税等の減少8,689千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して2,682千円増加し1,095,039千円となりました。これは四半期純利益2,682千円の計上により利益剰余金が2,682千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,987	411,490
売掛金	90,038	95,709
商品	39,731	39,874
貯蔵品	1,413	1,456
その他	42,731	41,037
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	604,863	589,529
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	99,442	98,469
構築物(純額)	7,110	6,852
工具、器具及び備品(純額)	18,399	17,161
土地	562,970	562,970
その他(純額)	6,291	5,835
有形固定資産合計	694,215	691,289
無形固定資産	10,652	11,294
投資その他の資産		
敷金及び保証金	167,829	138,712
その他	65,192	62,392
貸倒引当金	△208	△197
投資その他の資産合計	232,813	200,908
固定資産合計	937,681	903,492
資産合計	1,542,544	1,493,022
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,538	246,573
未払金	95,573	94,274
未払費用	42,133	40,458
未払法人税等	16,382	7,692
その他	7,209	7,033
流動負債合計	448,836	396,031
固定負債	1,350	1,950
負債合計	450,187	397,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	12,690	15,373
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,092,241	1,094,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115	115
評価・換算差額等	115	115
純資産合計	1,092,357	1,095,039
負債純資産合計	1,542,544	1,493,022

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2017年10月1日 至 2017年12月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2018年10月1日 至 2018年12月31日）
売上高	1,088,668	864,394
売上原価	764,701	602,441
売上総利益	323,966	261,952
販売費及び一般管理費	297,235	255,461
営業利益	26,731	6,490
営業外収益		
受取利息	7	6
受取保険金	—	1,060
その他	24	8
営業外収益合計	32	1,075
営業外費用		
和解金	—	400
その他	6	9
営業外費用合計	6	409
経常利益	26,756	7,157
特別利益		
固定資産売却益	—	49
債務保証損失引当金戻入額	775	—
特別利益合計	775	49
特別損失		
固定資産除却損	—	58
特別損失合計	—	58
税引前四半期純利益	27,531	7,149
法人税、住民税及び事業税	7,421	4,466
法人税等合計	7,421	4,466
四半期純利益	20,110	2,682

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	926,838	161,829	1,088,668	—	1,088,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	926,838	161,829	1,088,668	—	1,088,668
セグメント利益	48,966	12,370	61,337	△34,606	26,731

(注) 1. セグメント損益の調整額△34,606千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	773,255	91,138	864,394	—	864,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	773,255	91,138	864,394	—	864,394
セグメント利益	35,441	7,715	43,157	△36,666	6,490

(注) 1. セグメント損益の調整額△36,666千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。